

令和5年8月10日発行

出欠状況

年組	1年	2年	3年	計
在籍	11	8	12	41
欠席	0	0	0	0
遅刻者	0	0	0	0
氏名				
早退者				
氏名				

時間割変更

時間	1年	2年	3年
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

欠席者ゼロの日

CONTENTS **No.78**

議会をPick-Up! 2-3P
 会派通信 4P
 一般質問 5-10P
 議案の審議結果 10-11P
 永年在職表彰 12P

● 議会をPick-Up!

4月臨時議会

令和5年第1回臨時議会

会期 4月26日(1日間)

審議の結果は、10ページに掲載

4月の臨時会では、市長提出議案6件を審議しました。

Pick-Up 01

条例を否決

● 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部改正

部改正

3月定例会において継続審査となっていた里創プラン十日町ステージ(越後妻有交流館キナレ)の事業のうち、明石の湯の利用に関する事項を削除する条例改正について、審査を付託された産業建設常任委員長の審査報告ののち討論に付し、その後採決を行いました。産業建設常任委員長の審査報告では、3月定例会後、協議会を3回、委員会を2回開催し、継続理由に対する市の見解や4月以降の明石の湯の運営についての説明を受けたこと、閉会中の審査に



臨時会での採決の様子(4月26日)

ついでには、遅くとも委員の任期である5月13日までに本委員会としての結論を出すことを確認し、4月中に市議会としての結論を得られるよう、4

● 議会をPick-Up!

5月臨時議会

令和5年第2回臨時議会

会期 5月18日(1日間)

審議の結果は、10ページに掲載

5月の臨時会では、役員改選を行いました。

Pick-Up 01

議会構成が決定

議長

鈴木 一郎

副議長

宮沢 幸子

監査委員

高橋 俊一

■議会運営委員会

委員長 村山 達也
副委員長 富井 高志
委員 嶋村 真友子
委員 根津 年夫

委員 大嶋 由紀子
委員 福崎 哲也
委員 高橋 俊一

■総務文教常任委員会

委員長 根津 年夫
副委員長 水落 静子
委員 中林 寛暁
委員 富井 春美

■産業建設常任委員会

委員長 星名 大輔
副委員長 福崎 哲也
委員 嶋村 真友子
委員 鈴木 祐一

■厚生常任委員会

委員長 大嶋 由紀子
副委員長 山口 康司
委員 山家 悠平
委員 滝沢 貞親

■津南地域衛生施設組合 議会議員

委員長 吉村 重敏
副委員長 鈴木 和雄
委員 宮沢 幸子

■議会改革特別委員会

委員長 富井 高志
副委員長 星名 大輔
委員 中林 寛暁

■十日町地域広域事務組合 協議会議員

滝沢 貞親
水落 静子
滝沢 繁
大嶋 由紀子
高橋 俊一

中林 寛暁
鈴木 祐一
水落 静子
滝沢 繁
山口 康司
福崎 哲也
村山 達也
鈴木 和雄
宮沢 幸子
鈴木 一郎

■議会だより編集委員会

委員長 関口 立之
副委員長 富井 春美
委員 山家 悠平
委員 嶋村 真友子
委員 中林 寛暁
委員 山口 康司

■津南地域衛生施設組合 議会議員

鈴木 和雄
鈴木 一郎

議会をPick-Up!

6月定例会

令和5年第2回定例会
会期 6月16日～26日 (11日間)
審議の結果は、10ページから11ページに掲載

6月の定例会は、市長提出議案38件、請願1件、議会提出議案3件を審議しました。

Pick-Up 01 訴えの提起 (境界確定等請求事件)

湯沢町との境界確定等請求事件について、6月5日に言い渡された判決に不服があることから、控訴を行うことについて、全会一致で可決しました。控訴提起の理由は、高津倉山三角点から北上し、南魚沼市との境界線までの既に境界が確定している箇所判決について、当市が提出した歴史的資料の証拠としての評価並びに判断に疑義があるためです。

Pick-Up 02 一般会計補正予算 (第2、3号)

〈第2号(主な事業および内容)〉
●市営バス整備事業
今年度末に路線バス鉢線の運行が終了することに伴い、市営バスの代替運行をするため、車両購入やバス停看板の制作を行います。
●住民税非課税世帯給付金支給事業
電力・ガス・食料品等

価格高騰による負担増を踏まえ、令和5年度住民税非課税世帯に、一世帯3万円を支給します。
●プレミアム商品券発行事業
地域経済の活性化と物価高騰下における市民の消費活動を後押しするため、第二弾のプレミアム商品券を発行します。プ

レミアム率などの詳細は、実行委員会との協議により決定します。
〈第3号〉

Pick-Up 03 補正予算に対する附帯決議

議員発議により一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議が上程され、全員賛成で可決しました。
※附帯決議…議会または委員会における議案の議決に当たり付けられる、議会の意見要望を表明する決議。



里創プラン十日町ステージ (越後交流館キナーレ)

と動線を一部変更し、回廊棟エリアと融合した企画棟の展開によるファミリー層等新たな利用者層増加を図ります。



提出者による趣旨説明 (大嶋由紀子議員: 6月26日)

令和5年度十日町市一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議
キナーレ温泉棟改修工事に当たっては、これまで以上に市民から来訪者からも愛され、地域に笑顔と賑わいをもたらす施設となるよう、下記の事項を踏まえた予算執行を強く求める。
記
1 飲食ができる憩いの場としての休憩室、個室を確保すること。
2 高齢者へ配慮した施設とすること。
3 キッズルームを確保すること。
4 改修後、誘客に努め事業を継続すること。

Pick-Up 04 議員定数を 24人から19人へ

●十日町市議会議員定数 条例の一部改正
市議会では、令和3年6月に議会改革特別委員会を設置し、議員定数を含めたさまざまな課題について検討調査を行ってきました。令和5年2月27日には、議員定数「18人→19人」という意見が多数を占める結果となったこと、常任委員会の構成を含めた来期の議会運営について、十分な時間を確保して検討できるよう、議員定数については「本年6月定例会において結論を出す」ことを特別委員会の検討結果として議長に報告していただきました。これを踏まえ、議員提出議案として提案されました。

本会議最終日に提案者の福崎哲也議員の趣旨説明ののち、討論に付き、その後起立採決を行い、賛成多数で可決されました。



採決の様子 (6月26日)

詳細は、第2回定例会録画中継をご覧ください。↓



【討論者および討論順】
吉村重敏議員(反対)
水落静子議員(賛成)
富井春美議員(反対)
富井高志議員(賛成)
滝沢貞親議員(反対)

会派通信

会派の構成に異動がありました。新しい会派を含め全6会派を紹介します。
※当市議会では、会派制を採用しており、会派を中心として議会運営を行っています。

※鈴木一郎議長は、中立公平の立場から、所属会派から離脱しています。

令和の風

今期後半、大嶋議員と遠田議員が加わり5人となりました。それぞれの経験を活かし積極的に活動します。これからの社会は人口減少、少子高齢化が進む中で地域の活性化が求められています。地域の特性や資源を活かし、生活や地域経済の向上を図り、市民の皆さまが安心して暮らせる環境の整備に尽力します。また、市民の皆さまの負託にこたえた議会活動をするため日々研鑽に励み、政策を考え、実行できる会派を目指し謙虚に誠実に努力していきます。

会派長 根津年夫
山口康司
星名大輔
大嶋由紀子
遠田延雄

かがやき

私達は「市民全員が輝く十日町市をつくる」をスローガンに会派の名前を「かがやき」としました。性別や年代、地域の違う議員が集まっており、各議員が十年先、二十年先といった長いスパンでさまざまな案件や物事を見て、十日町市全体に有益になるように考え行動しています。アフターコロナの令和5年に十日町市がより輝けるよう、現場の声を大切に、市政に取り組んでまいります。

会派長 村山達也
富井高志
水落静子
関口立之
山家悠平

新成会

任期後半の新成会は、新たな会員が加わり4人の会派構成となりました。わかりやすい政治も必要かと思いますが、世の中は白と黒ばかりではなく、その中間のグレーが大半かもしれません。持論を通すことだけでなく、いかに市民や地域のためになるのかを考え、会派内での意見交換や勉強会を充実したいと思っています。信頼される会派であり、個の議員としても市民の負託にこたえられるよう活動してまいります。よろしくお願いたします。

会派長 福崎哲也
中林寛暁
宮沢幸子
小嶋武夫

日本共産党 十日町市議団

私たちは「市民の暮らし第一」をモットーに活動しています。例えば明石の湯の閉館問題では、他の会派と有志の会でアンケートを実施し、「明石の湯はそのまま残してほしい」という願いを議会ですべて貫いてきました。

安心して住み継がれる十日町。医療福祉の充実、国保税、介護保険料引き下げ、農業をはじめ、地場産業の振興、冬の間の暮らしを守ること等、政府交渉も取り組みながら活動しています。

会派長 鈴木和雄
滝沢 繁
富井春美

伸暢（しんちょう）

あまり目にしない会派名ですが、市議会も議員も、そして何より市民がつつがなく伸びやかになればとの思いで付けた名前です。期数も地域も違う三人が、それぞれの考えをしん酌しながら、会派会議や市内外の視察研修を続けてきました。何を議論し、視察先をどこにするのかなど、個性豊かな三人だからこそその醍醐味を味わっています。共通の結論を目指すのではなく、十日町市にとってより良い状況を導き出すために、私たち「伸暢」は、さらに進み続けます。

会派長 高橋俊一
鈴木祐一
吉村重敏

みつわ

私たちは、自由な意見や想いを政策に活かし、市民目線でのまちづくりに取り組んでいきます。「みつわ」には、市民の皆さまとたくさん「対話」し大きな「輪」となり、そして笑顔あふれる「平和」な十日町を。という想いをこめました。

直接地域に出向き、ご意見ご要望をお聞きして問題解決にむけて活動してまいります。市政や議員をもっと身近に感じていただけるよう「みつわの茶の間」と題し公聴会を開催しますので、ぜひご参加ください！

会派長 嶋村真友子
小林正夫
滝沢貞親

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、10人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ	質問議員	質問事項	ページ
宮沢幸子	「明石の湯」課題と政策!!子宮頸がんの予防拡充を!!	5	富井春美	明石の湯改修と市民の「生活の足」について	8
関口立之	「いきいきエイジング講座」との連携の現状と今後	6	大嶋由紀子	十日町市の教育について	8
滝沢繁	農業の可能性と資材高騰生産・価格低迷とインボイス直撃	6	嶋村真友子	香害についてさらなる周知を・みんなで始めよう人生会議	9
鈴木祐一	指定管理者制度・ZEHの取り組みと人手不足について	7	滝沢貞親	「明石の湯」進め方と「たっしやで100事業」について	9
中林寛暁	プラスチック新法に対する当市の取り組みと教育支援員	7	鈴木和雄	地域計画の中に、多様な担い手を位置づけ地域農業を守る	10

との協力が重要です。新しいチャレン

客ができるよう検討が必要です。また、

湯で楽しめる企画風呂は温泉相互に集

図ります。③市内の別の温泉を明石の

体の魅力の向上と新たな顧客の創造を

合した空間や企画を創出しキナーレ全

新します。また、温泉棟と回廊棟を融

のため、ボイラー等を最新のものに更

②明石の湯の施設は20年が経過し老朽

化していることから、今後の継続運営

「協働機構」と協議を進めています。

と想定している「NPO越後妻有里山

する条例を制定し、新たな指定管理者

温泉棟と回廊棟をそれぞれ公の施設と

ら撤退することになりました。今後、

見込めないことから、指定管理業務か

開館以来、施設を運営していただいで

おりますが、現代アート活用ノウハウ

がないことや温浴施設単体では採算が

答弁 ①クロスステンは、キナーレ

活用した太陽光発電の導入など、前向

きな対応について伺います。

質問 ①明石の湯に関してクロスステ

との指定管理の今後について伺います。

②温浴施設の更新計画について伺いま

す。③市内他の温泉のお湯を活用した

企画風呂やクラウドファンディングを

活用した太陽光発電の導入など、前向

きな対応について伺います。

答弁 ①クロスステンからは、キナーレ

開館以来、施設を運営していただいで

おりますが、現代アート活用ノウハウ

がないことや温浴施設単体では採算が

見込めないことから、指定管理業務か

ら撤退することになりました。今後、

温泉棟と回廊棟をそれぞれ公の施設と

する条例を制定し、新たな指定管理者

と想定している「NPO越後妻有里山

協働機構」と協議を進めています。

②明石の湯の施設は20年が経過し老朽

化していることから、今後の継続運営

のため、ボイラー等を最新のものに更

新します。また、温泉棟と回廊棟を融

合した空間や企画を創出しキナーレ全

体の魅力の向上と新たな顧客の創造を

図ります。③市内の別の温泉を明石の

湯で楽しめる企画風呂は温泉相互に集

客ができるよう検討が必要です。また、

キナーレは芸術作品になるので設計者

との協力が重要です。新しいチャレン



「明石の湯」課題と政策!!
子宮頸がんの予防拡充を!!

宮沢幸子 議員



質問 子宮頸がんから未来の命を守る

ために、ワクチン接種とともに重要な

役割を果たす検診について、もう一押

しする政策を伺います。

答弁 子宮頸がん検診は他のがん検診

との日程調整などが必要になりますが、

今20歳の方のみ無料で行っている検診

を、がん発症率の高い20歳から30歳ま

での女性の検診も無料にするなど、さ

らなる予防対策を検討し新年度予算等

に反映させるよう努めます。





「いきいきエイジング講座」
との連携の現状と今後

関口 立之 議員



質問 高齢化や人口減少に伴う課題解決のため、新潟大学に「十日町いきいきエイジング講座」が開設されて4年になりますが、この間の成果や今後の方針について質問します。①訪問看護ステーション「おむすび」の利用状況と今後の方針について②文科省RISTEXが募集した開発プログラムに「高速データ通信とAI技術による豪雪中山間地における新しい健康づくりのためのシナリオ創出」が採択されましたが、この概要と市の関わりは。

答弁 ①「おむすび」の開設は、寄附講座第一期における大きな成果の一つであり、喜ばしい結果につながった利用者が増えています。また、ご家族からも感謝の声を多数いただいています。実利用者は、令和3年度月平均で40・3人、令和4年度が82・5人、令和5年5月で100人となり、増加傾向が続いています。今後も民間の対応が難しい地域や、特殊な事情を抱える方などへの訪問に注力しながら、訪問サービスの提供に努めていきます。

②豪雪中山間地である当市では、自宅でのケアや看取りのニーズが高まっていますが、担い手と資源は圧倒的に不足しています。本プロジェクトは、これらの課題をICT、情報通信技術の活用により解決する社会システムをつくり出す研究です。現在は、離れたところからでもかかりつけ医や看護師等による遠隔診療や看護、見守りが可能かどうかを検証しています。蓄積された健康データ等を活用し、健康増進、介護予防事業への活用のほか、同様の課題を抱える県内外の中山間地等への展開も視野に入れ研究を進めています。

地域で生活したい、最後までうちで生活したいという市民の思いにこたえる仕組みを先駆的につくり、安心して生活していただきたいと思っています。



農業の可能性と資材高騰生産・
価格低迷とインボイス直撃

滝沢 繁 議員



質問 農業の多面的機能が自然と調和した環境を作っている。過疎、高齢化の中で農業を続けることが里山を守ることであり、市長のスーパーけん引力が必要。今後の展望を伺う。

答弁 肥料価格については昨年の同時期と比較し落ち着いてきたと考えています。電気料金や資材価格の高騰については依然として農業経営を圧迫していると考えており、どのような支援が必要か引き続き検討します。

質問 インボイス制度が10月から始まる。免税事業者が課税されるようになる可能性があるがどう考えるか。

答弁 制度が順調にスタートするよう引き続き周知に努めますが、廃止、延期を求めていく考えはありません。

答弁 全国棚田サミットを招へいした2009年当時は高齢化の進行、担い手不足が当市でも深刻な課題となっていました。しかしながら、大地の芸術祭や地域おこし協力隊の活躍を通じて、中山間地の魅力や可能性を感じてくれた人たちが、少しずつですが、移住やUターンなどにより地域に定着してくるようになったと感じています。市では農業の有する多面的機能を維持、強化するために日本型直接支払交付金制度に積極的に取り組んできました。令和4年度の実績では中山間地域等直接支払交付金を、棚田地域加算金5千万円を含めて4億7千万円交付し、多面的機能支払交付金を約3億円交付しました。多様な農業人材にさまざまな支援を行い、引き続き中山間地の農業振興に努めていきます。

質問 農作物価指数は近年上昇し続け、とりわけ肥料は前年同月比で38%の上昇。しかし農産物価格は低迷、見解を伺う。



中山間地は水田の面積より畦畔の面積の方が広い田んぼもあり、管理がたいへん。



指定管理者制度・ZEHの
取り組みと人手不足について

鈴木祐一 議員



質問 当市の指定管理者制度を利用した運営について、民間のノウハウなどの活用でサービス向上等の有益な実績はありますか。

答弁 清田山キャンプ場や中条児童遊園地ではアクティビティなどが充実し、利用された皆さまの評価も高く、利用者数を大幅に増加させています。今後、民間の持つ経験、専門性を活用すること、新しい工夫が盛り込まれたサービス提供を期待できる施設については、指定管理者制度を適切に運用してまいります。

質問 ゼロカーボンの取り組みの一つとしてZEHがあります。県でも雪国型ZEHの導入支援を開始しておりますが、十日町型ZEHのような独自の取り組みの考えはありますか。

答弁 太陽光などの設備支援に加え、新たに省エネに特化した補助金を創設し、県内トップレベルの支援を行っています。引き続き国や県と連携しながら、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みや、再生可能エネルギーのさらなる創出に努めてまいります。
質問 人手不足についての当市の対応と現在の状況をどのように把握しているかおたずねいたします。



当市の指定管理施設一部

答弁 ハローワーク十日町管内において、令和4年2月以降求職者数に大きな変化はないものの、有効求人倍率が1倍を超える状況が続いていることから、人手不足の状況が顕著になっていると認識しています。市としては高齢者や女性、外国人等も重要な労働力と考え、雇用促進にむけたセミナーや啓発活動を実施しています。また関係機関と連携し、十日町市、津南町の中学校生を対象に管内企業を紹介する「まちの産業発見塾」の開催や市内高校生を対象としたキャリア教育にも積極的に取り組んでいます。



プラスチック新法に対する
当市の取り組みと教育支援員

中林寛 議員



質問 プラスチック新法にて努力義務となった再資源化と再商品化について、現段階での当市の取り組みと今後の方針はどのように考えているか。

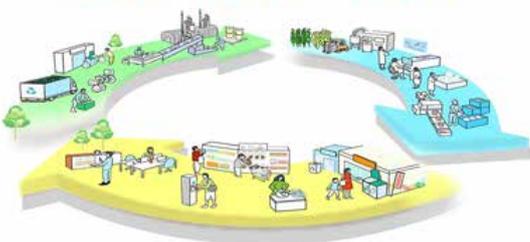
答弁 令和4年度からは発泡スチロールや菓子袋などの回収を追加するなど、ごみの減量と再資源化に向けた取り組みを推進しており、資源として回収したプラスチック類は、市内の中間処理業者に搬入した後、用途に合わせて分別し、プラスチック製品の原材料としてチップ化したり、専門業者へ搬出し、代替燃料として再商品化するなど、そのほとんどが再資源化されています。当市においては既に当法律の対象に含まれる品目も資源物として収集し、分別処理を行っており、今後も市民の皆さまにご理解、ご協力をいただきます。資源の有効活用に努めていきます。

質問 障がいのある児童生徒に対し、食事、排せつ、教室の移動補助等、学校における日常生活の介助や発達障がいのある児童生徒に対する学習活動のサポートを行う「教育支援員」の充足度が教育委員会側と学校現場や保護者の側では少し違うようだが、もう少し支援の増強は出来ないのか。

答弁 特別支援学級の在籍人数に応じ

た配置と個々の特性や支援内容に応じ、今年度市内では46人が従事しています。特別支援学級や通常の学級での支援を必要とする子どもたちが増えており、市としても、通級指導教室の充実が非常に大事だと思っており、例年県に強く要望し、設置増加を働きかけています。また、国が進めているインクルーシブ教育を進めていく上で教育支援員は必要な人員であることから、補助制度の創設を国に要望しています。各自治体でも同じような悩みを抱えているので、連携しながら取り組みをさらに強化していきたいと思っています。

プラスチックは
えらんで 減らして リサイクル





明石の湯改修と市民の「生活の足」について

富井 春美 議員



質問 明石の湯改修について①今までの明石の湯を望んでいる市民に対しての改修の考えは。②20年間の入湯税とそれについての考えは。③市民や従業員の声を聞き、より良い改修をすべきと考えるがいかがか。

答弁 ①明石の湯を閉館してはならないという大変重い判断がなされたので、今後持続可能な運営をしていくために、維持管理費や営業の形態、人員配置等見直す必要があります。②平成15年度から令和5年度4月利用分までの明石の湯の入湯税は、合計1億3600万ほどです。市の税収として非常に大事だと考えており、入館者、利用者を増やしていけるよう努力していきます。③若い世代やファミリー層にも利用してもらええる取り組み等を検討し、新たな顧客の創造につながるより良い方向に改修が進むよう努力していきます。

質問 安心して生活できる交通網や地域づくり等について①高齢化が進むことでの「生活の足」の対策は。②免許返納者へのタクシードラッグ券発行はいかがか。③道路運送法に基づき自家用有償運送を実施する許可がでるまでの過程は。

答弁 ①現在、交通事業者や社会福祉団体などの関係機関、学識経験者等で

構成する十日町市地域公共交通活性化協議会で、当市の公共交通が抱えるさまざまな課題を洗い出し、今後の方向性や目標を定め、地域ニーズに応じた計画の策定に向けて検討を進めています。②自主返納に限った支援制度は導入せずに、公共交通網の整備や要介護3以上の歩行困難な高齢者へのタクシードラッグ券の交付など、福祉施策としての交通費助成を継続します。③タクシードラッグ券の発行は、タクシー事業者や福祉の専門家等をメンバーに加えた法定協議会で認められたのち、国土交通大臣の登録を受ける必要があります。

交通に関する施策の推進は、交通が、国民の自立した日常生活及び社会生活の確保、活発な地域間交流及び国際交流並びに物資の円滑な流通を実現する機能を有するものであり、国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展を図るために欠くことのできないものであることに鑑み、将来にわたって、その機能が十分に発揮されることにより、国民その他の者の交通に対する基本的な需要が適切に充足されることが重要であるという基本的認識の下に行われなければならない。

*交通政策基本法の第二条より抜粋



十日町市の教育について

大嶋 由紀子 議員



質問 3年間、人との交流がなかなか持てない時でしたが、コミュニティスクールの現在の現状を伺います。

答弁 具体的な活動内容は、登下校の見守りや本の読み聞かせ、スキーやプログラム学習における安全確保の補助のほか、放課後寺子屋塾、総合的な学習の一環として伝統芸能の伝承活動、紙すきや縄ないなどの体験、生活科での例えば畑の先生授業など、学校ごとに特色のある取り組みが行われています。

質問 ①雪里留学としてまつのやま学園に来ているお子さんは何人ですか。

答弁 ①今年度は、現在、市外から4名、市内から2名、計6名がこの雪里留学で学んでいます。②6月20日正午現在で23組から応募いただいたいています。③まつのやま学園は、松之山地域にとつて唯一の学校であり、学校関係者や保護者のみならず、地域の皆さんからも積極的に学園活動をサポートしていただいています。特に学校運営協議会では、地

域住民12名の方が指導者となつていただき、学校関係者とともに学園の将来について考える場を設けております。また、ふるさと学習「まつのやまタイム」やアウトドア部など特色ある教育活動や学校行事には地域住民約100名の方から指導者として支援いただいているとともに、まつのやま学園の生徒が地域行事に参加することで地域の活性化にもつながっています。

質問 市外の中学校、高校に進学する子どもの数(割合)はどのくらいになりますか。

答弁 自らの希望で十日町市外の中学校へ進学した生徒は51名、全体の12.5%、高等学校は、今年度は102名、全体の27%が市外へ進学しました。



ホットラウンジin中条小学校図書室の様子



香害についてさらなる周知を。
みんなで始めよう人生会議

嶋村真友子 議員



質問 ①香害や化学物質過敏症について啓発活動の現状とさらに理解を広めるための具体策は。②小中学校で香害や化学物質過敏症について健康調査票に追加するなどして実態調査をする必要があるのではないか。

答弁 ①現在ホームページを中心とした啓発活動のほか、消費者協会主催による講演会が開催されたところです。日常生活の中で香害によつて時には誰かを困らせ、あるいは健康を損なわせてしまうことがあることを広く市民の皆さんに周知することは、とても重要な取り組みだと考えています。引き続き、市民に向けた啓発活動を進めるために、公共施設を中心に啓発ポスターの掲示について検討を進めていきたいと考えています。②各市立学校の健康調査票や保健調査票に、香害や化学物質過敏症などについての項目立てをする必要に応じて検討し、児童生徒のより詳しい健康状態の把握に努めてまいります。

質問 「明石の湯」の今後について①この件で生じた市民と議会における混乱の責任はどこにあるのか。②条例改正案否決後「明石の湯」を元の状態に復旧しないのはなぜか。③国の補助金はいつ返還するのか。④詳細を知るため、クローズド専用を呼んで話を聞くことは出来るか。

答弁 ①終活をはじめさまざまな福祉に関する困り事が相談できるよう、医療福祉相談センター内に医療福祉相談窓口を設置しており、専門知識を有する職員が一緒に活動していることから、きめ細やかな相談対応が可能です。また、各公民館等を会場としたエンディングノートセミナーの開催や、社会福祉協議会や地域包括支援センターでも相談対応を行っています。とりわけNPO法人「十いろ」では、終活全般の相談を受けていただいています。②市報で紹介していきたいと思えます。

質問 ①高齢者や家族に対して終活相談の場はあるのか②昨年10月に開催された「もしもの時の人生会議はじめませ

大切な人に伝えたい「自分のこと」

社会福祉法人 十日町市社会福祉協議会



「明石の湯」進め方と「たっしやで100事業」について

滝沢貞親 議員



質問 「たっしやで100事業」について①事業目的と実施による成果は何か②事業終了の具体的な理由は何か。③事業終了への市民の反応はどうか。

答弁 ①市の提案に対し、議員各位からしっかりと議論いただき、市民の皆さまの中でも多くの意見が交わされ、今後どのような方向性で維持管理、運営を展開させていくのか議論が深まり、意義のあるものであったと感じています。②従来の運営方法ではコストがかなりすぎるため、営業時間や営業日、提供するサービスを根本的に見直す必要があります。③内閣府と相談をした上で、早期に交付金を活用した改修をしない旨の実績報告をする予定です。④議会から要請があれば、応じていくべきではないのかなと思っています。

たっしやで100

ポイントカード

虎沢重親

十日町市

生年月日 大正・昭和 年 月 日

発行日 令和 年 月 日

〒974-8500 十日町市 〇〇〇〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇



地域計画の中に、多様な担い手を位置づけ地域農業を守る

鈴木和雄 議員



質問 ① 深刻さを増す当市農業の課題は何か。その対策をどう進めるのか。

② 個人農家の経営面積が減少傾向にある。シッカリ支えていかないと地域の経済力そのものが減少してしまう。調査と対策がどう進められているのか。

答弁 ① 農村人口減少に伴う農業従事者の減少と、担い手不足の進行に加え集落機能の低下による農地保全や農業施設の維持管理不足が想定されるため、日本型直接支払交付金制度を活用した中山間地域への財政的支援や、新たな担い手の定住支援を続けていきます。

② 今後10年を見据えた地域計画の策定に着手しており、農業関係団体や認定農業者、また当市で活躍する多様な農業人材の方と、今後の農地の利用や保全などについて話し合いを進めていきます。

質問 ① 地域計画の工程はどのように計画されているのか。② 65歳以上の耕作面積は4割を占めている。さらに集積意向のある農地は1割にも満たない状況です。それだけに多様な担い手を支えないと地域農業は守れない。

答弁 ① 現況地図や目標地図の作成に必要となる意向調査後、中山間直払いや多面的機能の組織代表者、また認定

農業者、農業委員などとの協議の場を設け、地域計画を策定します。川西地域の東部地区を先行モデルとし、令和5年度中の計画策定に向けて作業を進めています。他地域においても年内に意向調査を取りまとめ、令和6年1月から順次話し合いを開始し、令和7年3月末までに10地域全ての地域計画の策定を終える予定です。

② 経営規模によらず継続的に耕作を行う者を、多様な農業人材を含め「農業を担う者」として位置づけ、関係部署と連携し、さまざまな支援をしながら、新たな担い手を増やしたいと考えます。

● 人・農地プランにおける地域の現状

単位：ha

項目	十日町地域		川西地域		中里地域		松代地域		松之山地域		合計
	面積	Aの割合	面積	Aの割合	面積	Aの割合	面積	Aの割合	面積	Aの割合	
地域内の耕地面積 A	2,824.4		1,104.8		1,114.0		420.9		571.2		6,035.3
アンケートに回答した地域内の農地所有者または耕作者の面積	2,227.2	78.9%	1,004.8	90.9%	925.1	83.0%	319.6	75.9%	499.2	87.4%	82.4%
65歳以上の農業者の耕作面積	1,169.5	41.4%	330.8	29.9%	384.1	34.5%	214.7	51.0%	260.1	45.5%	39.1%
上記の内、後継者未定の耕作面積	214.1	7.6%	90.2	8.2%	58.8	5.3%	108.9	25.9%	103.4	18.1%	9.5%
今後中心的経営体が集積意向のある耕作面積	218.5	7.7%	90.8	8.2%	177.9	16.0%	21.7	5.2%	18.4	3.2%	8.7%

鈴木和雄議員作成

4月臨時会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	18	十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部を改正する条例制定	産業建設	賛成少数 否 決
		議案第18号 十日町市里創プラン十日町ステージ条例の一部を改正する条例制定に対する修正案の提出（施行期日を改める修正案）	—	賛成少数 否 決
	51	専決処分の承認（令和4年度十日町市一般会計補正予算（第12号））	—	全員賛成 承認
	52	専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）	—	全員賛成 承認
	53	専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成 承認
	54	専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成 承認
55	令和5年度十日町市一般会計補正予算（第1号）について	—	—	撤回

5月臨時会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
出市議長提案	56	専決処分の承認（令和5年度十日町市一般会計補正予算（第1号））	—	全員賛成 承認
	57	監査委員の選任（高橋 俊一（たかはし しゅんいち）氏）	—	賛成多数（投票） 同意
議会提出議案	4	議会常任委員会委員長及び副委員長の選任報告	—	— 報告
	5	議会運営委員会委員長及び副委員長の選任報告	—	— 報告
	6	十日町地域広域事務組合議会議員の選挙	—	— 選挙
	7	津南地域衛生施設組合議会議員の選挙	—	— 選挙
	8	議長の辞職許可	—	— 許可
	9	議長選挙	—	— 選挙
	10	副議長の辞職許可	—	— 許可
11	副議長選挙	—	— 選挙	

6月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
出市議長提案	58	農業委員会委員の任命（村山 隆義（むらやま たかよし）氏）	—	全員賛成 同意
	59	農業委員会委員の任命（佐野 幸男（さの ゆきお）氏）	—	全員賛成 同意

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
60	農業委員会委員の任命(村山 太郎(むらやま たろう)氏)	—	全員賛成	同意
61	農業委員会委員の任命(佐藤 三代治(さとう みよじ)氏)	—	全員賛成	同意
62	農業委員会委員の任命(北村 公太郎(きたむら こうたろう)氏)	—	全員賛成	同意
63	農業委員会委員の任命(根津 徳男(ねつ とくお)氏)	—	全員賛成	同意
64	農業委員会委員の任命(村越 益男(むらこし ますお)氏)	—	全員賛成	同意
65	農業委員会委員の任命(古高 悟(こたか さとる)氏)	—	全員賛成	同意
66	農業委員会委員の任命(富井 公一(とみい こういち)氏)	—	全員賛成	同意
67	農業委員会委員の任命(若井 君男(わかい きみお)氏)	—	全員賛成	同意
68	農業委員会委員の任命(菅井 太一(すがい たいち)氏)	—	全員賛成	同意
69	農業委員会委員の任命(村山 浩一(むらやま こういち)氏)	—	全員賛成	同意
70	農業委員会委員の任命(高橋 清一(たかはし きよかず)氏)	—	全員賛成	同意
71	農業委員会委員の任命(樋口 則雄(ひぐち のりお)氏)	—	全員賛成	同意
72	農業委員会委員の任命(高橋 松雄(たかはし まつお)氏)	—	全員賛成	同意
73	農業委員会委員の任命(岩田 稔(いわた みのる)氏)	—	全員賛成	同意
74	農業委員会委員の任命(田村 実義(たむら みよし)氏)	—	全員賛成	同意
75	農業委員会委員の任命(水落 孝夫(みすおち たかお)氏)	—	全員賛成	同意
76	農業委員会委員の任命(児玉 芳洋(こだま よしひろ)氏)	—	全員賛成	同意
77	農業委員会委員の任命(長谷川 東(はせがわ あずま)氏)	—	全員賛成	同意
78	農業委員会委員の任命(吉楽 広志(きら ひろし)氏)	—	全員賛成	同意
79	農業委員会委員の任命(南雲 正隆(なぐも まさたか)氏)	—	全員賛成	同意
80	農業委員会委員の任命(樋口 正州(ひぐち まさくに)氏)	—	全員賛成	同意
81	農業委員会委員の任命(福嶋 恭子(ふくしま きょうこ)氏)	—	全員賛成	同意
82	人権擁護委員候補者の推薦(開発 周子(かいほつ ちかこ)氏)	—	全員賛成	同意
83	損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
84	十日町市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
85	十日町市城ヶ丘多目的広場条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
86	令和5年度十日町市一般会計補正予算(第2号)	—	全員賛成	原案可決
87	令和5年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
88	令和5年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
89	令和5年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
90	令和5年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
91	令和5年度十日町市介護保険特別会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
92	令和5年度十日町市水道事業会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
93	令和5年度十日町市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
94	令和5年度十日町市下水道事業会計補正予算(第1号)	—	全員賛成	原案可決
95	訴えの提起(境界確定等請求事件控訴)	—	全員賛成	原案可決
96	物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
97	物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
98	物品購入契約の締結	—	全員賛成	原案可決
99	損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
100	令和5年度十日町市一般会計補正予算(第3号)	—	賛成多数	原案可決
請願	1 「消費税インボイス制度の実施延期を求める」意見書を国に提出することを求める請願	総務文教	賛成少数	不採択
出議案	12 議案第100号 令和5年度十日町市一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議	—	全員賛成	原案可決
議案提	13 十日町市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定	—	賛成多数	原案可決
	14 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。(○：賛成、×：反対、－：欠席)
 ※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決(賛成・反対の意思表示)権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき					伸暢		令和の風				日本共産党十日町市議団				新成会			みつわ		無党派	
				村山達也	富井高志	水落静子	関口立之	山家悠平	高橋俊一	鈴木祐一	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	大嶋由紀子	遠田延雄	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	中林寛暁	宮沢幸子	小嶋武夫		小林正夫
18	否決(条例改正)	11	12	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	※
	否決(条例改正の修正案)	11	12	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	※
100	原案可決	17	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	—	×	×	※
請願1	不採択	5	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	—	○	○	※	
議案13	原案可決	16	6	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	—	×	×	※

永年在職表彰

去る4月6日に開催された第98回北信越市議会議長会定期総会、および6月14日に開催された第99回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。

なお、鈴木議員および小嶋議員は議長会の表彰規定により、町村議会議員の在職期間が換算されています。



- ◎在職20年以上表彰
鈴木 一郎 議員
- ◎在職15年以上表彰
小嶋 武夫 議員
- ◎在職10年以上表彰
高橋 俊一 議員
村山 達也 議員
福崎 哲也 議員
大嶋 由紀子 議員

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています!
一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

新・議会だより編集委員会での編集作業

今号から、新しい委員で編集を行っています。
議会だより編集委員は、3つの常任委員会から
2人ずつ選ばれています。



表紙写真について

今号の表紙は十日町高校松之山分校生徒会の作品です。

十日町高校松之山分校生徒会



今年度から募集停止に伴ない、2・3年生しかいないの
ですが、その分学年間のやりとりが密になった気がし
ます。写真は松之山分校の日常を切り取ったものです。

あとがき

5月18日の臨時議会において議会構成が一新され、「議会だより」編集委員も新しい顔ぶれとなりました。

白熱する議会の様子を限られた紙面でお伝えするのは大変難しいのですが、市民の皆さまと議会をつなぐ重要なパイプ役を担っていくこと、編集委員一同、思いを新たに取組んでいく所存です。

例えば、紙面でご紹介する討論や一般質問は、いつでもどこでもネット動画をご覧いただけるように二次元コードを掲載しておりますが、「紙面」という枠を越えた新たな展開を考えます。どうぞご期待ください!

(関口立之)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999